

### 3 学習指導や生活指導の小・中学校の円滑な接続の工夫改善

### 小・中学校間での学習規律、生活規律の改善に関する一貫した取組の推進

岩見沢市立東光中学校

岩見沢市立東小学校、岩見沢市立岩見沢小学校

#### 効果的な取組とするためのポイント

3校統一の「東光中学校区 生活の決まりと約束」を作成・活用することにより、小・中学校の円滑な接続を図るとともに、学校と児童生徒、保護者、地域が見通しをもって、生活規律の定着を図る。

## 取組の実際

### 1 3校統一の「東光中学校区 生活の決まりと約束」を目指して

校区の「生活の決まりと約束」の統一の検討を始め、中1ギャップ加配担当教員が中心となり、3校の生活の決まりを見比べ、試案を作成している。今後、小学校で検討を加え、平成30年度より3校で使用する。

「生活の決まりと約束」として、校区の9年間を可視化し、児童生徒が小・中学校の指導のギャップを感じず、学校や学級での生活に安心して臨むことができるように、学校は共通理解の下に家庭や地域と連携を図りながら指導する。

東光中学校区 生活の決まりと約束案【校内生活】		岩見沢市立東光中学校区連携協議会	
項目	小学校	中学校	
あいさつ	全ての児童・生徒が活発なあいさつを心がけよう。どんな場面でも大きな声で声を下げて。		
服装・身なり	清潔感があふれない服装や身なりを心がけよう。	清潔な服装は基本制（指定ジャージ）を着用すること。変形されたものは認めない。 （清潔に長持ちの、短いものは着用しない。）	
		女子のスカート丈は、ひざが見えない程度とする。 （清潔に長持ちの、短いものは着用しない。）	
		夏服のYシャツは、半袖、長袖のどちらでも可なり。開襟シャツも認めず。Yシャツ、開襟シャツはズボンの裾に入れます。	
		夏服期間は毎月15日～9月15日を目処とする。この期間「Yシャツ（自由）」・指定ハーフパンツでの参加が認められます。	
		制服着用時、ソックスの色は白・黒・紺です。（ジャージ着用時は自由）なお、女子のストッキングの色は黒またはベージュです。	
靴		靴やシューズのジャンパー、カーチャイロンの着用は禁止です。	
		制靴（指定ジャージ）はだらしのない着用をしない。 ・制靴・ジャージを履く時は、上着の裾から「Yシャツ」を出す。 ・制靴・ジャージの裾から「カー」のフードを出す。 ・制靴のボタンを外す、補正を繰り返す。 ・ジャージのチャックの下がずり（ネーム付帯を目安に）、いたずらで、ネームの糊剥きなどとする。	
	外靴は、雨雪のある時は運動靴を履用し、高筒靴や革靴などを含め、靴筒に入る安全性のあるものを履用し、上靴は体育時使用できる運動靴を履用してください。	化粧箱（紙、布など）はしてこない。くしや歯ブラシはケースの中に入れておきましょう。	
髪型	髪を染めたりパーマ（ストリートパーマ含む）することは禁止です。またムースやワックス等、整髪料の使用も禁止です。※補正は学校の許可が必要。	髪を染めたりパーマ（ストリートパーマ含む）することは禁止です。またムースやワックス等、整髪料の使用も禁止です。※補正は学校の許可が必要。	
		男女ともに前髪は目にかからないようにしましょう。 男子の髪型は目にかからないように、女子は肩以上の長さ（両側の髪を揃んだ線からの長さで決める）の場合、きちんと縛ってください。（縛るものは、地味な色のゴムか黒、茶の色のヘアピンとし、派手なリボンや長いピン止めは禁止とする）	
整容	整容については中学生らしいものとし、学習に支障を及ぼすものにしてはならない。	整容については中学生らしいものとし、派手・華美・奇抜なものは禁止とする。	
連絡	アクセサリ類（指輪、ミサンガ、ピアス、ネックレス等）はつけてません。		
靴		カバンについては原則自由ですが、ビニール袋や紙袋は認めません。	

東光中学校区 校外生活の決まりと約束案【校外生活】		岩見沢市立東光中学校区連携協議会	
項目	小学校	中学校	
外出・帰校	帰宅時間は、夏（4月～9月）は午後6時まで、冬（10月～3月）は午後5時30分まで帰宅してください。なお秋祭りの夜は大変な場合は午後8時までの帰宅となります。	帰宅時間は、夏（4月～9月）は午後7時まで、冬（10月～3月）は午後5時30分まで帰宅してください。なお秋祭りの夜は大変な場合は午後8時までの帰宅となります。	
	保護者不在者への出入り、隠れ行動（喫煙・飲酒等）の要因となるので禁止です。		友人等への外泊は、両校士の許可があっても禁止です（隠れ行動の要因になります）。
店舗	お酒がメニューにある飲食店及び喫茶店については、子どもだけの来店は禁止です。		
	ゲームセンター、カラオケボックス、インターネットカフェなどに子ども同士で立ち入ることはできません。 ※保護者同伴の場合はこの限りではありません。 ※保護者同伴の場合はこの限りではありません。ただし、保護者には高校生は含まれません。 ※映画館・ボウリング場は保護者の許可を得て決められた帰校時間を守ることに従います。	生活館でのカラオケ、インターネットカフェ、漫画型インターネットカフェへの出入りはできません。 ※保護者同伴の場合はこの限りではありません。 ※映画館・ボウリング場は保護者の許可を得て決められた帰校時間を守ることに従います。	
遊び	危険な遊び（マッチ、ライター、刃物、爆竹、ロケット花火、B・B弾銃等）は禁止です。		
	危険・禁止場所（川、池、おんがら、用水路、歩道、草場）での遊びは禁止です。また、スケートボード、ローラースケート遊び等も禁止です。	子どもだけで公園やグラウンドで遊戯することは禁止です。	
不審	不審電話には対応せず、絶対に他人の電話番号等を教えたりしないこと。		
	不審電話が判断がつかない場合、後でかけ直すとよい相手の電話番号を聞くこと。		

【東光中学校区生活の決まりと約束（案） 校内生活、校外生活】

#### 成果(○)と課題(●)

- 児童が小学校在学中に中学校の「決まりや約束」を知ることにより、入学前に、決まりの意味や意義について理解し、小・中学校の円滑な接続を図ることができた。
- 小・中学校で認識の違いがあり、統一が難しい項目があることから、小・中学校の教職員はもとより、児童生徒や保護者の意見を取り入れながら検討を進める必要がある。

### 3 学習指導や生活指導の小・中学校の円滑な接続の工夫改善

小・中学校相互の授業参観や出前授業等、小・中学校が連携した指導方法、指導体制の充実

石狩市立樽川中学校、石狩市立南線小学校

#### 効果的な取組とするためのポイント

小・中学校で授業改善の視点や指導方法を共有するとともに、児童生徒の現状を把握し、指導の改善につなげるため、小・中学校の互いの学校の授業を参観し、教職員同士が協議する機会を設定する。

## 取組の実例

### 1 授業改善の視点や学力向上の取組の共有

小・中学校段階の差異を軽減し、円滑な接続を図るため、定期的に情報交換を行い、小・中学校間で授業改善の視点や指導方法を共有した。

授業改善の視点として、次の4点を示し、日常の授業から取り組んだ。

- ① 「課題とまとめ」の明示
- ② 自分の考えを友達に伝える活動の充実
- ③ 課題を解決するための話し合い活動の工夫
- ④ 学習規律の定着（挨拶、机上の整理等）

指導方法では、算数・数学科を中心に、習熟度別少人数指導を通して、児童生徒のつまづきを把握し、個に応じた指導を工夫した取組を進めるとともに、各家庭に「家庭学習の手引き」を配布する等、家庭・地域と連携した取組を進めた。



【自分の考えを友達に伝える活動】

### 2. 学習状況の交流～互いの授業参観・中学校教員の出前授業～

児童生徒の現状を把握し、指導の改善につなげるため、小・中学校の互いの学校の授業を参観する機会を設定し、児童生徒の学習・生活状況を把握するとともに、指導の在り方を協議する機会を設けるようにした。

また、中学校教員による「出前授業」を複数回実施した。今年度は、数学科・理科・外国語科で実施し、児童が、学習への関心を高めるとともに、中学校の学習への取り組み方や心構えを学ぶことをねらいとした。中学校教員は第6学年児童だけではなく、小学校全体の授業の様子も観察し、実態把握とその後の中学校での指導に役立てている。



【中学校教員による出前授業】

#### 成果(○)と課題(●)

- 小・中学校が定期的に交流することにより、9年間を見通して共通の視点で、学力向上の取組を進めることができた。
- 小・中学校の接続に関わる学年だけでなく、義務教育9年間全体で取組を充実させる必要がある。そのため、取組の成果と課題を小・中学校の教育課程に反映させる必要がある。

### 3 学習指導や生活指導の小・中学校の円滑な接続の工夫改善

合同授業、出前授業、学校行事への相互参加、授業参観等、小・中学校が連携した取組の実施

小樽市立朝里中学校  
小樽市立朝里小学校、小樽市立豊倉小学校

#### 効果的な取組とするためのポイント

小学校間における合同学習や学校行事への相互参加、小・中学校間では、出前授業や合唱コンクールのリハーサルの見学を行った。また、小・中学校の教員による授業参観を行い、児童生徒の実態把握や情報交流を図っている。

#### 取組の実際

##### 1 小学校間による授業交流

大規模校である朝里小学校と小規模校である豊倉小学校の交流を促進するため、主に豊倉小学校の児童が朝里小学校に来校し、生活科、体育科、学校行事等の合同学習を行った。

豊倉小学校の第6学年児童は、中学校進学前に大規模校の雰囲気慣れとともに、朝里小学校の多くの児童と交流し、新しい仲間づくりができたことで、中学校進学への不安解消につながった。



【保健体育科の授業で交流をする児童】

##### 2 小・中学校間による出前授業、授業参観

第6学年には、中学校の授業スタイルや雰囲気を理解させること、中学校の教員には、児童の実態や学習規律の定着状況等を把握することをねらいとして、保健体育科と外国語活動の出前授業を実施した。

また、中学校吹奏楽部の出前コンサートや合唱コンクールのリハーサルの見学等、定期的、継続的に小・中学校間での交流を行うことで、児童は中学校進学に向けて期待と意欲が高まり、中学校の教員においては、第6学年の児童と接することにより、児童の実態と小学校における学習規律等の把握につなげることができた。



【外国語活動の出前授業】

#### 成果 (○) と課題 (●)

- 小学校間や小・中学校間の合同学習、出前授業、中学校への行事参加を通じて、児童と児童、児童と生徒、そして児童と中学校教員が直接触れ合い、コミュニケーションを図ったことにより、お互いに正しい情報を共有することができ、児童の中学校進学に向けた期待と意欲を高めることができた。
- 小学校間、小・中学校間の取組を一層促進するとともに、幼稚園・保育園と連携した取組を行う必要がある。



### 3 学習指導や生活指導の 小・中学校の円滑な接続の工 夫改善

小・中学校相互の授業参観や出前授業等、小・中学校が連携した指導方法、指導体制の充実

共和町立共和中学校・共和町立東陽小学校  
共和町立北辰小学校・共和町立西陵小学校

#### 効果的な取組とするためのポイント

中学校教員が小学校の授業参観を実施し、児童の学習状況を確認することや各小学校児童の合同学習を実施すること、新学習指導要領移行期間における町内で統一した外国語活動の実施に向けた指導計画案を作成することで、教育課程の円滑な接続を図っている。

## 取組の実際

### 1 合同学習の実施

#### (1) 小学校第3学年による合同学習

3校の児童が、共に豊かな体験活動を行うことを通して、かかわりを深めていくことを目的に、第3学年では、農協青年部による「らいでん」食農教室としてスイカ・メロンの選果場見学、圃場見学など実施した。一緒に試食したり、見学したりしながらの交流を通して、他校の児童との交流の楽しさを実感させることができた。



【「社会」の合同学習の様子】

#### (2) 小学校第4学年及び5学年による「体育」の合同学習

学校間の垣根を越えて仲間意識を高めることを目的に、第4学年は東陽小学校、第5学年は西陵小学校に各小学校の児童が一堂に会し「体育」の授業を行った。

それぞれの会場でサッカーの授業を行い、チームプレーを通して、大人数で行う球技の特性による運動の楽しさを実感させることができた。

児童からは「作戦を立てることの大切さが分かった」、「協力してプレーして楽しかった」といった感想があった。



【「体育」の合同学習の様子】

### 2 中学校教員による小学校の授業参観

次年度入学する児童の学習状況を把握し、中学校への円滑な接続を図ることを目的に、第6学年を中心に授業の参観を行った。参観及び児童の状況の交流を通して、小学校段階における指導内容や学習規律を把握することができ、中学校入学後の学習面や生活面における支援の在り方について事前に検討することの必要性を実感することができた。

### 3 外国語教育担当者会議の開催

新学習指導要領移行期間を迎えるに当たり、外国語活動を円滑に実施するため、各小・中学校担当者で構成する担当者会議を開催した。会議では、次年度以降の指導計画案の作成や教材の確認など町内小学校で統一すべき事項を検討した。中学校教員との意見交換を通して、小学校教員は、クラスルームイングリッシュの在り方、中学校教員は、小学校での学びを前提とした言語活動の在り方について理解を深めることができた。

#### 成果(○)と課題(●)

- 合同学習では将来同じ中学校に入学する児童間での交流の機会として小学校3校による合同学習の時間を設定し、連携プレーなどを通して、運動の楽しさや他と協調することの大切さなどを実感させることができた。
- 小・中学校相互の授業参観については、日程の関係上多くの教員が参加することが困難であったため、次年度の事業計画策定の際に十分な日程調整を行う必要がある。

### 3 学習指導や生活指導の小・中学校の円滑な接続の工夫改善

### 小・中学校間での学習規律、生活規律の改善に関する一貫した取組の推進

室蘭市立桜蘭中学校、室蘭市立知利別小学校  
室蘭市立旭ヶ丘小学校、室蘭市立八丁平小学校

#### 効果的な取組とするためのポイント

各小・中学校において統一することができる学習規律を整理し、共通した学習規律「授業の心構え五か条」を作成した。各学校においては、共通した学習規律に基づく指導を徹底するとともに、児童生徒や保護者に周知することにより、義務教育9年間を見通した学習規律の理解を促し、より円滑な小・中学校の接続を目指す。

#### 取組の実際

- 1 中学校区の小・中学校において、学習規律の指導の共通化を図り、9年間の連続性のある学習規律の定着を目指す。
- 2 学習規律の核となる項目を「準備」、「姿勢」、「聞く」、「話す」、「書く」の5つに絞り込み、「授業の心構え五か条」を策定した。
- 3 小学校低学年、中学年、高学年、中学校など、児童生徒の発達の段階に応じた表現を検討した。その後、学習規律の具体が分かるように、写真を掲載した掲示物を作成して全学級に掲示し、中学校区内の全ての学校で統一した指導を行った。

#### 中学校版「授業の心構え 五か条」

- 一、授業前に次の時間の準備をします  
★教科書、ノート、鉛筆、消しゴム、定規、赤鉛筆を机に出しておきます。筆入れはしまします。
- 二、正しい姿勢で学習します。  
★背中を「ピン」とのばします。(立腰)  
足を「ピタ」っとつけます。  
おなかと机は「グウ」がはいるくらいあけます。
- 三、先生や友達の話をしっかり聞きます。  
★聞き方「名人」  
①体を向けて 手をとめて  
②大切なことは 落とさずに  
③自分の考えと 比べながら  
④わからないとき 質問を
- 四、相手にわかりやすく、はっきりと話します。  
★話し方「名人」  
①考えたことを  
②聞く人を見て  
③区切りながら  
④結論がわかるように  
⑤声の大きさを考えて
- 五、ノートはわかりやすく書きます。  
★日づけ、ページを書きます。  
★まずや行からはみださず、濃くはっきり書きます。  
★線を引くときは、定規を使います。

桜蘭中学校区

#### 授業の心構え「五か条」

#### 二、正しい姿勢で学習します。

★背中を「ピン」とのばします。(立腰)  
足を「ピタ」っとつけます。  
おなかと机は「グウ」がはいるくらいあけます。



#### 成果(○)と課題(●)

- 中学校区における統一した学習規律を検討することにより、各学校における授業改善に向けた取組を交流することができた。
- 児童生徒の発達の段階を考慮し、学習規律を提示したことにより、児童生徒にとって分かりやすく、学習規律の定着を図ることができた。
- 日常の授業における指導を徹底・継続し、取組の成果を検証する必要がある。



### 3 学習指導や生活指導の 小・中学校の円滑な接続の工 夫改善

小・中学校相互の授業参観や出前授業等、小・中学校が連携した指導方法、指導体制の充実

伊達市立伊達中学校  
伊達市立黄金小学校、伊達市立稀府小学校

#### 効果的な取組とするためのポイント

小規模校の児童にとって、大規模の中学校に進学することについては、大きな不安がある。そこで、隣接する小規模の小学校と連携し、卒業生が入学する中学校の教員による出前授業を行うことにより、円滑な接続を目指すこととした。

#### 取組の実際

- ・中学校の教員による出前授業については、第5、6学年において実施している。
- ・出前授業においては、中学校英語教員及び小学校担当ALTにより、指導を行った。
- ・第6学年については、6月と12月の年2回、第5学年については、12月の年1回実施した。
- ・実施に当たっては、加配教員がコーディネーターとして連絡調整を行った。



【出前授業の様子】

- 1、本時の内容 ハイフレンズ1（第5学年外国語活動教科書）L8 1/4
- 2、本時の目標 ①積極的に英語を使って会話できる。  
②それぞれの教科を英語で言うことができる。
- 3、本時の評価 ①積極的に英語を使って会話することができたか。  
②それぞれの教科を英語で言うことができたか。
- 4、本時の展開

活動内容	生徒の動き	指導上の配慮点
<b>1. Greetings</b> <b>あいさつ（5分）</b> ①Hello, everyone. ②How are you? ③How is the weather? ④What day is it today? ⑤What the date today?	・あいさつを返したり、質問に答えたりする。	・まだ習っていない表現があれば、適宜教える。
<b>2. Self-Introduction</b> <b>教員の自己紹介（1分）</b>	・先生の自己紹介をしっかりと聞く。	
<b>3. Ice Breaking</b> <b>じゃんけん列車（4分）</b> ①まず二人組に分かれ、英語でじゃんけんを行う。 ②負けたら、相手の後ろに回り肩を掴んで繋がる。 ③一列の長い列車になるまで繰り返す。	・二人組に分かれて、英語でじゃんけんを行う。 ・一列の長い列になるまで繰り返す。	
<b>3. Preparation for the game.</b> <b>ゲームの準備（5分）</b> ①教科の絵とその教科を表す日本語を黒板に貼る。 国語、算数、理科、社会、音楽、家庭、書写、体育、図画工作、英語の10教科 ②それぞれの教科の英単語を黒板に貼って、読み方を確認する。 ③繰り返し練習し、読み方を確認する。	・先生の読み方を繰り返す。	・発音やイントネーションを確認し、間違えている場合は再度発音する。

【出前授業における学習指導案】

#### 成果(○)と課題(●)

- 児童は、中学校の教員による専門的な指導を受けることにより、外国語活動（英語）に興味をもち、意欲的に活動することができた。
- 授業アンケートにおいては、「進んで交流することができた。」「新しく学習した表現を使うことができた。」「外国語と日本語の違いや面白さに気付くことができた。」などの振り返り項目において、全ての児童がB以上（概ね満足、満足）と回答するなど、外国語活動（英語）に対する楽しさを実感することができた。
- 小学校と中学校においては、学校行事や期末テストの実施など、多忙期に違いがあり、出前授業の実施時期の調整を図る必要がある。

### 3 学習指導や生活指導の小・中学校の円滑な接続の工夫改善

小・中学校相互の授業参観や出前授業等、小・中学校が連携した指導方法、指導体制の充実

長万部町立長万部中学校

長万部町立長万部小学校、長万部町立静狩小学校

#### 効果的な取組とするためのポイント

小中の円滑な接続を目指した「乗り入れ授業」「小学校の学習サポートへの教職員の派遣」「小中合同の活動・取組」等を行い、児童生徒間交流及び教職員間の連携を図っている。

中学校生活に対する意識等を把握・分析し、それに基づく児童に対する支援の工夫・改善に努めている。

## 取組の実際

### 1 中学校教諭による小学校外国語活動「乗り入れ授業」の実施

長万部小学校第5・6学年の外国語活動の授業に毎週、中学校英語教諭（中1ギャップ担当者）が各学級担任とTTを行っている（長万部高校の英語教諭も定期的に参加）。学級担任との授業づくりや打合せを行うことで、児童の学習内容の定着・活発な活動につながるだけでなく、学級担任の指導力向上にも役立っている。

#### ○ 中学校の先生との外国語活動の学習に関して

- ・ 中学校英語の学習が楽しみになりましたか？

はい：78%

- ・ 中学校入学に対する不安はどうなりましたか？

変わらない：15%    小さくなった：33%

大きくなった：19%    もともと不安はない：33%

<第6学年対象 中学校生活アンケート（11月実施）>



【小学校外国語活動への乗り入れ授業】

### 2 小学校の長期休業中の学習会への中学校教員の派遣

長万部小学校、静狩小学校が実施している長期休業中の学習会に中学校教員と地域住民に協力を要請し、学習サポートを行っている。

中学校教員は主に第5・6学年を担当し、課題に対する指導や採点を通じて児童と交流を深め、児童とのよりよい関係づくりにつなげている。



【長期休業中の学習会への中学校教員の派遣】

#### 成果（○）と課題（●）

- 児童が中学校教員に直接指導を受ける機会が増えたことにより、中学校での学習に対する不安が軽減したり、中学校での学習を意欲的に捉えたりするなど、中学校生活を前向きに考える児童が増えてきた。
- 乗り入れ授業前後の打合せのもち方の工夫、静狩小学校への定期的な乗り入れ授業の実施、小学校教員の中学校での乗り入れ授業など、取組を工夫・改善する必要がある。



### 3 学習指導や生活指導の 小・中学校の円滑な接続の工 夫改善

小・中学校相互の授業参観や出前授業等、小・中学校が連携した指導方法、指導体制の充実

東川町立東川中学校、東川町立東川小学校、東川町立東川第一小学校、東川町立東川第二小学校、東川町立東川第三小学校

#### 効果的な取組とするためのポイント

中学校の外国語担当教員による小学校外国語活動の乗り入れ授業においては、小学校の教員が中心となり指導計画を作成し、中学校教員と打合せを行うことで、児童の実態に即した指導が可能となる。また、中学校における系統的な指導や指導方法の改善につながる。

#### 取組の実際

小学校から中学校に入学すると、教科担任制や部活動の取組、定期テストや行事への取組等、生徒にとって環境が大きく変化する。このような変化に対し、生徒が中学校生活を安心して送ることができるようにするためには、小学校時代に中学校生活の一部を体験したり、中学校生活への期待感を高めるような交流活動を行ったりする必要がある。

#### 1 小学校第6学年外国語活動への中学校外国語担当教員による乗り入れ授業

- ・町内全ての小学校において、中学校外国語担当教員及びALTの計3名で外国語活動の授業を実施した。
- ・学級担任が授業を進め、T2として中学校外国語担当教員が指導し、T3としてALTがデモンストレーションを行うなど、指導方法を工夫したことで、外国語に対する児童の興味関心を高めることができた。



【外国語活動への乗り入れ授業】

#### 2 「小・中学校」の交流活動の実施

- ・小学校の児童会役員と中学校の生徒会役員が、それぞれの学芸会・学習発表会や学校祭のポスター掲示の依頼を行ったり、中学生が出身小学校の運動会や学芸会・学習発表会の運営を手伝ったりするなど、児童生徒同士の交流を進めている。
- ・町内の少年団活動と中学校の部活動の児童生徒が交流を行うなど町内全体での小・中学校間の円滑な接続を進めている。



【小学校の学芸会への出演】

#### 成果(○)と課題(●)

- 小学生が、中学校教員による「乗り入れ授業」や「部活動体験」を経験したことで、中学校入学後の教育活動に対する不安を取り除くことにつながり、中学校生活に対する見通しをもつことができた。
- 小学校教員と中学校教員間で指導方法や学習規律の共有化を図るなど、継続的な情報交換と連携を進める必要がある。



### 3 学習指導や生活指導の 小・中学校の円滑な接続の工 夫改善

小・中学校間での学習規律・生活規律の改善に関する一貫した取組の推進

天塩町立天塩中学校  
天塩町立天塩小学校、天塩町立啓徳小学校

#### 効果的な取組とするためのポイント

「そろえる」をテーマとした「学習規律」、「生活規律」の統一及び系統的な指導について、3校で足並みをそろえ、中学校入学時の不適応を防止し、円滑な接続を図っている。

## 取組の実際

### 第6学年からの「そろえる」の指導について

#### 1 ねらい

小学校から中学校への円滑な進学を目指し、児童生徒への指導について3校で足並みをそろえることにより、「学習規律」、「生活規律」の指導を充実しながら中学校進学後の生徒のストレスを最小限に抑え、中学校生活への不適応による不登校を防止する。

#### 2 取組の内容

- ・小学校6年生から中学校1年生5月まで、以下の指導を徹底する。
- ・天塩町内の小・中学校教職員全員が内容を理解し、共通した指導ができるようにする。
- ・各学校の生徒指導担当者が校内の中心となり、該当学年の担任・学年団と連携して取組を進める。

#### 「天塩中学校 学習の心得」

- 1 休み時間中に次の授業の準備をする。
- 2 学習用具を忘れたときは、授業前に申し出て指示を受ける。
- 3 チャイムが鳴る前に着席し、教科書・ノートを開いて先生を待つ。
- 4 授業の始めと終わりには正しく礼をする。
- 5 授業に遅れたときや授業中に席を離れたときは先生に理由を話す。
- 6 指名されたときは、場に応じた声ではっきり返事する。
- 7 手を挙げるときは、すっきりとひじを伸ばす。
- 8 発表するときは、みんなに聞こえるようにはっきり話す。
- 9 話を聞くときは話す人に注目し、最後までしっかり聞く。
- 10 授業中は背筋を伸ばし、正しい姿勢で椅子に座る。

これまで、中学校に入学してから生徒に指導していた中学校の生活や学習のきまりを、小学校6年生で先取り指導を行うことにした。

また、「忘れ物」を未然に防止するための取組として、前日の帰りの会で次の日の持ち物をメモさせるなど、自覚を高める指導を行っている。

#### 「4」の関連 始業時・終業時の挨拶の仕方（できるまでやり直させる）

- ① 日直 「気をつけ」（全員が姿勢を正したのを確認してから次の号令へ）
- ② 日直 「これから〇時間目の授業を始めます：終わります」
- ③ 全員 「始めます：終わります」（といてから、座礼をする）

#### 「6、7」の関連

- A 指名する（指名されたら返事、指名された者にも発言権あり）
  - B 挙手させる（あてられたら返事、挙手しながらの発言はNG）
  - C 自由に発言させる（自由な発言はよいが他者の発言を妨げない）
- 活動の特性やねらいなどにより、A～Cの使い分けを行い、その「線引き」を子どもたちにハッキリわかるように指導する。（ ）内の指導を徹底する。

#### 「9」の関連

発表者に体（無理があれば顔）を向けて話を聞くようにさせる。発表者は全体に向けて発表させる（例えば、最前列からは後ろを向いて）。

#### 「10」の関連

<禁止事項> ・頬杖をつく ・イスを傾ける ・ペンを回して遊ぶ

#### 【家庭学習に関して】

天塩中学校では、各教科にて家庭学習の手引きを作成して指導している（別紙参照）。家庭学習は学力の定着や向上を図ることを目指すが、ここでは、子どもたちの望ましい生活習慣の定着と、中学生になると勉強を重視しなくてはならないという意識を高めることをねらいたい。そのために毎日必ず取り組ませるようにする（毎朝提出させ、担任が確認）。

#### <取り組みませ方の例>

- 毎日の授業での補充学習としてドリル問題のプリント
- 自分の興味のあることについての調べ学習
- 苦手な計算や漢字の練習

※「教師が与える課題」か「子どもが求める課題」については実態に応じて取り組ませる。

#### (2) 生活のルールについて

「天塩中学校 生活のきまり」の「(2) 生活についての②、⑥」と「(4) 頭髪について」は、6年生3学期から指導する。なお、中学校入学後もその指導を徹底する。

※服装は「そろえる」ことができないが、6年生に「服装のきまり」の内容を理解させておくとともに、中学校進学に向けて学校生活にふさわしい服装を意識させる。

#### (3) 言葉遣いの指導について

- ・先生や先輩に対しては敬語を遣うようにさせる。
- ・相手に対して「死ぬ」「殺す」は厳禁とする。

### 成果(○)と課題(●)

- 中学校での生活や学習のきまりを小学校段階で先取り指導をした結果、中学校入学後の指導を円滑に行うことができた。
- 学級担任が変わっても小学校での指導が徹底・継続できるよう、組織的な取組として充実する必要がある。

### 3 学習指導や生活指導の小・中学校の円滑な接続の工夫改善

小・中学校相互の授業参観や出前授業等、小・中学校が連携した指導方法、指導体制の充実

標茶町立標茶中学校、標茶町立標茶小学校  
標茶町立磯分内小学校、標茶町立沼幌小学校

#### 効果的な取組とするためのポイント

小中連携の視点で、授業交流や出前授業、体験入学等の取組を実施し、中学校へ入学予定の児童がもつ学校生活への不安を解消して入学への希望をもたせるとともに、小・中学校の教員が授業づくりについて連携及び協議する機会とする。

#### 取組の実際

##### 1 小・中学校相互の授業参観

小・中学校が互いに参観日の案内を配付し、授業参観への呼びかけを行っている。小学校では、できるだけ多くの教員が参観できるよう補欠体制を工夫し、中学校では時間割編成を工夫している。

授業参観を通じて、加配教員を窓口として小学校の教員から中学校の教員に対し、指導方法に関する質問などが出されるなど、小・中学校それぞれの学習内容を知る機会となっている。



【参観日の様子】

##### 2 中学校教員による出前授業の実施

中学校の外国語科の教員が小学校で出前授業を行い、小学校教員の外国語活動の授業改善に役立っている。また、今年度は標茶中学校で外国語科に関する研究会、研修会が行われ、町内からもたくさんの教員の参加があり、町全体において中学校外国語科の授業についての理解が深まった。



【外国語科出前授業の様子】

##### 3 新入生体験入学における体験授業の実施

新入生体験入学の際に、中学校の教員が体験授業（数学科・理科・外国語科）を行い、児童が中学校の授業を体験した。



【数学の授業の様子】



【理科の授業の様子】

#### 成果(○)と課題(●)

- 小・中学校の教員間で指導方法の交流がなされ、互いに児童生徒の学習方法や学習規律について共通理解を深めたことにより、各学校において、授業改善が図られている。
- 年間活動計画に基づき、計画的に交流を行うとともに、加配教員が窓口となり、各校の教務主任と連携しながら各種調整を進める必要がある。